

2024年度 北見縣高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔芸術〕〔音楽〕	3年	2単位	教科書	なし	副教材等	なし	履修対象・ 使用教室等	3学年アクティブ・音 楽選択者
教科・ 科目の 目標	1, 2年次の授業内容を更に発展させたものである。器楽表現でギターに取り組み、簡単なメロディー奏や伴奏ができる技術を身につける。ミュージックハルに取り組み、主体的・協働的な活動をして、作品を完成させることから様々な学びを得る。 (1) 音楽の構造などの関わりについて理解し、創意工夫を活かした曲想・器楽表現をする。【知識・技能】 (2) 音色、リズム、テンポ等の音楽表現を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏表現をするか、思考や表現能力を養う。【思考力・判断力・表現力】 (3) 曲想と音楽の構造や歌詞など、文化的・歴史的な背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に、表現や鑑賞する能力を養う。【主体的に学習に取り組む態度】								
評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	*演奏表現では(ア)楽譜の正しい読み方を身につけ表現活動に活かす。(イ)曲種や楽曲の構成に応じた表現の工夫。(ウ)楽曲の作曲者や歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化の関わりを主体的に感受し、創意工夫を持った表現活動。 *鑑賞能力では説明の理解度や感じた事柄を言葉にする。	*楽曲構成、作品の時代背景や世界各国の文化の交流を知覚・感受し、自己のイメージと合わせた表現が出来る能力を養う。 *音楽形式の要素や時代背景や国々の関連を知覚・感受した鑑賞活動ができています。			*主体的・協働的に演奏表現の活動に取り組んでいる。 *主体的・協働的に、鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 *授業の出席率と滞在時間、取り組み態度。				
評価 方法	*単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況」とする。 *単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	小テスト	4回			50%	20%	20%		
	授業用紙	毎回				20%	40%		
	感想文等	2回				20%	20%		
	実技の取り組み及びテスト	4回			50%	40%	20%		
	〔観点別配分%〕			(3観点の比重を%で示しています)					
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標(到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
4 5	ギター コード 鑑賞	14	ギター取り扱い、チューニング、基礎 音名・音階復習 ギターソロ曲			小テスト	◎	○	○
						授業用紙		◎	◎
						実技	◎	◎	○
						感想文		○	
6 7	ギター コード 鑑賞	14	ギターメロディー奏 メジャーコード ギター協奏曲			小テスト	◎	○	○
						授業用紙		◎	◎
						実技	◎	◎	○
						感想文		○	
8 9	ギター コード	14	ギターコードストローク コード			小テスト	◎	○	○
						授業用紙		◎	◎
						実技	◎	◎	○
10 11	ハンドベル演奏	16	楽器の扱い、ルール説明 クリスマス会の曲 自由曲			実技	◎	◎	◎
12 1	ハンドベル演奏 映画鑑賞	12	クリスマス会の曲 自由曲 北京ヴァイオリン			実技	◎	◎	◎
						感想文		◎	◎
2 3									
学習の アドバイス	*授業に参加する姿勢(出席率・授業滞在時間・取り組み状況)が何より大切です。								